

# 日本漢字能力検定 模擬問題

# 1級

第1回（平成28年1月31日作成）

## 〔構成〕

- ページ1 : 表紙(このページです)
- ページ2 : 問題用紙(おもて)
- ページ3 : 問題用紙(うら)

## 〔注意事項〕

1. 解答用紙及び模範解答は別紙です。
2. 問題用紙はA3サイズで印刷することをお勧めします。

## 〔その他〕

1. 当模擬問題の内容の全ての転載を認めます。  
但し、PDFファイルをそのまま他のアップローダー等へ転載する行為はご遠慮下さい。
2. お気付きの点や不明な点がございましたら問題作成者までご連絡下さい。

# 漢検

## 第1回 日本漢字能力検定 模擬問題

### 1級

解答は、現代仮名遣いによるものとする。

解答は別紙（答案用紙）に書くこと。

(一) 次の傍線部分の読みをひらがなで記せ。(30)  
1～20は音読み、21～30は訓読みである。

(二) 次の傍線部分のカタカナを漢字で記せ。(30)

(四) 次の1～5の意味を的確に表す語を、次の□から選び、漢字で記せ。(10)

1 汨没して姿を現さず。

2 亀頭剥落して藟苜を生ず。

3 丈夫として叛き還た遑えり。

4 深山幽谷が矚然と開けた。

5 秋は獮を以て兵を治む。

6 声音の咲語も渾て是れ殺機なり。

7 垣衣蛛網窓牖に蒙る。

8 口を極めて貊子を浴びせる。

9 甌中糝粒無し。

10 鉤錐で木材に穴を開ける。

11 黄髮番番の老人に出会った。

12 甌窶に建つ陋屋を寓居としている。

13 蛋白石の駸犖模様我心奪われる。

14 黝罍丹漆な建物を眺める。

15 公姥に白し、時に及び相遣帰すべし。

16 罽するものは舟を扣く。

17 装束を纏着する。

18 蟋蟀堂に在り、歳聿に其れ莫れん。

19 小菽煙草の漢名を杓児菜という。

20 迦葉起きて舞う。

21 榭櫺は建築材や桶に利用される。

22 兄弟牆に閲ぐも外其の務りを禦ぐ。

23 枊を担いで荷物を運ぶ。

24 悶絶して地に躓る。

25 罽の齒軋り。

26 蓮の台の半座を分かつ。

27 宴会の席に客実として招かれる。

28 甌に酒を盛って飲む。

29 癩を吮い痔を舐める。

30 是を以て耳目の欲を闢く。

1 ソウボウたる大西洋を臨む。

2 大河が浩浩とハビコる。

3 シャクヤクたる風姿に見惚れる。

4 世の中にはオコの沙汰がたくさんある。

5 小心ヨクヨクと任務に励む。

6 敵味方がマンジドモエと切り結ぶ。

7 初めてハイジクの屈辱を嘗めた。

8 蛞蝓は粘液でヌメヌメしている。

9 ホウボウを表して彼を追及する。

10 お洒落なガマグチ財布を購入した。

11 何事もなくシヨウコウ致しております。

12 消毒にシヨウコウ水を用いる。

13 その噂は忽ちシヨウコウした。

14 青江物の刀剣はナマズハダが特徴的だ。

15 長年ナマズハダに悩まされている。

(三) 次の傍線部分のカタカナを国字で記せ。(10)

2×5

1 マテは二枚貝の一種である。

2 重要なヤチの保全活動に努める。

3 ムロは杜松の古名である。

4 ガロンは容積の単位の一つである。

5 スバシリはボラの幼魚である。

(五) 次の四字熟語について、問1と問2に答えよ。(30)

1 幼い年齢。

2 兄弟仲が良いこと。

3 抜きん出て優れていること。

4 くどくどとしゃべる。

5 洗濯物をいっぱい広げて干すこと。

かんし・けれんみ・さいそう  
じゅんじゅん・たくき・とうとう  
まんかんしよく・ゆうう

問1 次の四字熟語の(1～10)に入る適切なな語を左の□から選び漢字二字で記せ。

問2 次の11～15の解説・意味にあてはまるものを問1のア～コの四字熟語から一つ選び、記号(ア～コ)で記せ。

ア (1) 絶書	カ 倍日 (6)
イ (2) 稽首	キ 許由 (7)
ウ (3) 馬勃	ク 鋒芒 (8)
エ (4) 繩枢	ケ 獺多 (9)
オ (5) 艾榮	コ 魴魚 (10)

おうゆう・ぎゆうしゅう・ぎよじょう  
けつかく・こうよく・しょうふ  
そうほ・ていび・ひよくじん  
へいこう

- 11 俗世や名利を超越して悠々と楽しむ。
- 12 つまらない人間となること。
- 13 貧しく粗末な家の形容。
- 14 政治に私情をさしはさまない。
- 15 人民の甚だしい苦勞のたとえ。

氏名	日付
	年 月 日
得点	
点	

# 1 級

解答欄を間違えないよう設問番号を確認して下さい。

(六) 次の熟字訓・当て字の読みを記せ。

- |      |        |
|------|--------|
| 1 石花 | 6 油点草  |
| 2 山藤 | 7 三白草  |
| 3 紫参 | 8 露兜樹  |
| 4 編木 | 9 看麦娘  |
| 5 白英 | 10 楊欏木 |

(10)

1×10

(八)

次の1～5の対義語、6～10の類義語を後の□の中から選び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使うこと。

対義語

類義語

- |      |
|------|
| 1 燕雀 |
| 2 順調 |
| 3 興隆 |
| 4 豊贍 |
| 5 糶散 |

- |        |
|--------|
| 6 燕石   |
| 7 敷瓦   |
| 8 馳走   |
| 9 致仕   |
| 10 麒麟児 |

(九)

次の故事・成語・諺のカタカナ部分を漢字で記せ。

- 1 昨日のツツレ今日の錦。
- 2 キンユ瑕を匿す。
- 3 ヒチヨを失う。
- 4 ホウウの嗟。
- 5 ゴソは五技にして窮す。
- 6 ユウコを綯繆す。
- 7 キヨウゲンは徳の賊。
- 8 ホウロウには松柏無し。
- 9 オトキ腹七日もつ。
- 10 ショウリヨウ森林に巣くうも一枝に過ぎず。

(20)

2×10

(七) 次の熟語の読み(音読み)と、その語義にふさわしい訓読みを(送りがないに注意して)ひらがなで記せ。

- |        |       |
|--------|-------|
| ア 1 龐錯 | 2 龐れる |
| イ 3 悵急 | 4 悵る  |
| ウ 5 充切 | 6 切る  |
| エ 7 洒如 | 8 洒む  |
| オ 9 躡躡 | 10 躡む |

けんしょう  
すぐ

(10)

1×10

(十) 文章中の傍線(1～10)のカタカナを漢字に直し、波線(ア～コ)の漢字の読みをひらがなで記せ。

(30)

2×10

1×10

**A** 山居すれば、胸次は清洒にして、物に触れて皆佳思有り。孤雲野鶴を見ては、超絶の想いを起し、石澗流泉に遇ては、澡雪の思いを動かす。老檜寒梅を撫して、勁節挺立し、沙鷗麋鹿を侶として、機心トミに忘れる。若し一たび塵寰に走り入らば、物の相関せざるに論無く、即ち此の身亦贅旎に属す。

**B** 士君子、権門要路に処らば、操履は厳明なるを要し、心気は和易なるを要す。少しも随いてセイセンの党に近づくことなかれ、また過激にしてボウタイの毒を犯すなかれ。

**C** 人生は一分を減省せば、便ち一分を超脱す。如し交遊減ずれば、便ちフンジョウを免れ、言語減ずれば、便ち懲尤寡なく、思慮減ずれば、則ち精神コウせず、聡明減ずれば、則ち混沌完うすべし。彼の日に減ずるを求めずして、日に増すを求むる者は、真に此の生をシッコクするかな。

**D** 得るを貪る者は、金を分かつも玉を得ざるを恨み、公に封ぜらるるも候を受けざるを怨み、権豪も自ら乞巧に甘んず。足るを知る者は、レイコウも膏梁より旨しとし、布袍も狐貉より暖かなりとし、編民も王公に譲らず。

**E** 万籟の寂寥たる中、忽ち一鳥の弄声するを聞かば、便ちキヨタの幽趣を喚び起す。万卉の摧剥たる後、忽ち一枝の擢秀するを見れば、便ち無限の生機を触れ動かす。見るべし、性天未だ常にはココウせず、機神最も宜しく触発すべきことを。

**F** 儉は美德なり。過ぐれば則ちケンリンと為り、鄙嗇と為りて、反って雅道を傷る。讓は懿行なり。過ぐれば則ち足恭と為り、曲謹と為りて、多くは機心に出づ。

**A**

**F**

(洪自誠「菜根譚」より)